

# 講演会・研修会報告

## ①講演会

令和元年度は「慢性の痛みの理解と診療体制の構築に向けて」をテーマとした講演会を岩手県・宮城県の後援のもと、盛岡市・仙台市にて各1回ずつ実施しました。医療従事者のほか福祉・介護職、行政の高齢者・健康関連部署など慢性疼痛に関わりのある職種を対象とし様々な職種の方にご参加頂きました。

## ②研修会

今年度の研修会は、岩手・宮城・福島3県の後援のもと、盛岡市・仙台市にて開催しました。全4回の研修会には東北6県からいずれも定員に達するほどの多くの皆様にお申込みを頂き、盛会のうちに終わることができました。多職種で構成されるグループ分けを行ったことで、自分以外の職種から違った視点での意見を聞いたことが良かった、という感想を多く頂きました。

令和元年度厚生労働省「慢性疼痛診療体制構築モデル事業」慢性の痛みの理解と診療体制の構築に向けて

### 慢性の痛みについて

組織損傷は起っているのに、痛みが続く…  
こんな慢性の痛みで苦しんでいる患者さんどのように「理解」して、どのように「治療」するのか

講演会のお知らせ

議題①『慢性の痛み：どんなものなのか』  
議題②『慢性の痛み：どのように対応するか』

盛岡講演

日時 令和元年11月4日 13:00～15:00(開場12:30～) 場所 マリオス 18階会議室 181

講演① 沼沢 拓也 先生  
八戸市立市民病院 第一外科部長  
リハビリテーション科部長

講演② 伊達 久 先生  
仙台ペインクリニック 理事長

仙台講演

日時 令和元年11月10日 13:00～15:00(開場12:30～) 場所 TKP仙台AER30F ホール30A

講演① 小澤 浩司 先生  
東北医科薬科大学医学部整形外科 教授

講演② 山川 真由美 先生  
山形大学医学部附属病院 疼痛緩和医療部長  
後援緩和内科部長

対象：医療従事者、福祉・介護職、その他慢性疼痛に携わるすべての職種  
公立大学法人福島県立医科大学医学部疼痛医学講座 担当：高橋

連絡先：TEL&FAX:024-547-1987 E-mail:kozumage@fmu.ac.jp

主催：福島県立医学部疼痛医学講座  
後援：岩手県 宮城県

事前申込不要 入場無料

令和元年度 厚生労働省「慢性疼痛診療体制構築モデル事業」(東北ブロック)

### 慢性疼痛診療研修会 開催のご案内

参加無料 定員50名

盛岡研修会

第1回 日時 2019年11月24日 10:00～15:00(受付9:30～) 場所 メトロポリタン盛岡 New Wing 至雲(西)

第2回 日時 2019年12月22日 10:00～15:00(受付9:30～) 場所 アイーナいわて県民情報交流センター 研修室812号

仙台研修会

第1回 日時 2019年12月8日 10:00～15:00(受付9:30～) 場所 TKPガーデンシティプレミアム仙台西口 ホール7A

第2回 日時 2020年1月5日 10:00～15:00(受付9:30～) 場所 TKPガーデンシティプレミアム仙台西口 ホール7A

受講対象者：医師、歯科医師、看護師、理学療法士、作業療法士、臨床心理士、看護師、ソーシャルワーカー等の医療従事者

講師・ファシリテーター：八戸市立市民病院 整形外科 リハビリテーション科 高橋 啓祐先生、岩手医科大学 痛症科 大塚 光孝先生、東北大学 痛症科 山内 正孝先生、東北医科薬科大学 整形外科 小寺 清司先生、岩手医科大学 痛症科 野野 達也先生、岩手医科大学 痛症科 伊藤 久生先生、岩手医科大学 痛症科 山内 真由美先生、山形大学医学部附属病院 疼痛緩和医療部 高橋 啓祐先生、福島県立医科大学 整形外科 後援医学講座 高橋 啓祐先生、福島県立医科大学 痛症科 岩手大学医学部附属病院 痛症科 高橋 啓祐先生、福島県立医科大学 整形外科 二階堂雅典先生

プログラム：①慢性疼痛の概要とは？ ②慢性疼痛では痛み以外の評価が必要 ③慢性疼痛における薬物療法 ④慢性疼痛患者とのコミュニケーションを考えた ⑤症例検討

申込方法：①お名前 ②希望の日時 ③ご所属・職種 ④ご連絡先をご入力の上、kozumage@fmu.ac.jpまでメールにてお申込みください。

お問い合わせ先：福島県立医科大学 疼痛医学講座 TEL&FAX 024-547-1987 E-mail:kozumage@fmu.ac.jp (関係：高橋)

共催：福島県立医科大学 医学部疼痛医学講座 / 認定NPO法人 いちみ医学研究情報センター

後援：福島県 宮城県 岩手県

